

暖冬傾向だったのが…

## いきなり大寒波到来しました

これを書いてるのは一月二十二日です。  
 この週の初め頃から寒波が押し寄せてきて、  
 二十四節気の大寒を迎えたあたりから、とんで  
 もなく寒くなりました。

しかも、この週末にはもつと大規模な寒波が  
 日本列島をすっぽりと包み込み、九州北部でも  
 日中の最高気温が0℃を下回る「真冬日」を記  
 録しそうな予報も出ています。これは数十年に  
 一度という寒波だといわれているようです。

これまでの暖冬傾向から一気に厳寒へと針が  
 振り切れているような、そんな感じもしますが、  
 こういった極端な天候が最近多いですね。

さて、この号が皆さまのお手元に届く頃には、  
 寒さがどうなっているかはわかりませんが、イ  
 ンフルエンザなどの感染症がだいぶ猛威を振る  
 い始めているのではないかと思います。

皆さまにおかれましては、体調管理  
 に十分気をつけて、手洗いうがいなど  
 を徹底して、元気にお過ごし下さい。



## 庄野地区「百手講神事」

去る1月8日。庄野地区の産土神社の境内  
 において、恒例の「百手講神事」が執り行わ  
 れました。今回はその模様を。

今年は朝から少々肌寒く、雨の予報も出て  
 おりましたが、おかげさまで雨が降ることも  
 なく、神事を執り行うにはよい日和となりま  
 した。境内は、地区の皆さま方のテニよりき  
 れいにお掃除がされ、婦人会の方々によって、  
 お汁粉が振る舞われるなど、和気藹々とした  
 雰囲気でした。

今年の射手は、池田聡さん(23歳)と久  
 保川俊治さ(55歳)のお二方。  
 池田さんは、今回が2回目。この  
 日がお誕生日だったそうです。久  
 保川さんは今回が(おそらく)5  
 回目。厄入りのときに奉仕されて  
 から、15年ぶりの射手をつとめ  
 ていただきました。

社殿内でのお祓い神事が済み、  
 境内にしつらえられた的に向かっ  
 て、50本の矢を交互に射ます。

最初の方、2本命中しましたが、  
 そのあとはなかなか矢が刺さりま  
 せん。それもそのはず。途中で弓  
 が切れたりして交換になったり、  
 また矢が裂けてしまったりと、射



手の方には少々難儀な的  
 打ちとなったようです。  
 それでも射手の方は、  
 修正を加えつつ頑張っ  
 て下さったのですが、的を  
 掠めたりしたものの、な  
 かなか当たらず、矢を射  
 尽くしたところで神事は  
 仕舞いとなりました。

今回の結果を宮司が占  
 いまして、矢の数から「そこそこ豊  
 作」であるとのこと。しかし、途中  
 で弓矢のトラブルなどがあったこと  
 から、「道具の手入れなどを大切に  
 するとよいでしょう」という判断と  
 なりました。

射手をつとめて下さった池田さん  
 と久保川さんにおかれましては、伝  
 統ある神事の射手という退任を務め  
 てくださって、本当にありがとうございました。

今年一年の庄野地区の平穏無事と、  
 皆さま方の健康長寿、そして五穀豊  
 穰を祈るこの百手講神事。

これからも末永く受け継がれるこ  
 とを、心からお祈り申し上げて、今  
 回のレポートの締めとさせていただきます。

